

信じる力を支える力に

# くきCAP通信



2022年秋号



Mail

くきCAP連絡先



HP



FB

Tel◆090-8104-7038

Mail◆kuki\_cap@yahoo.co.jp

HP◆<https://kukicap.jimdo.com>

FB◆<https://www.facebook.com/kukicap/>

くきCAPは、子どもへの暴力防止プログラム「CAP(キャップ)」を埼玉県内で実施している団体です。子どもたちがいじめや、虐待、体罰、誘拐、連れ去り、チカン、性暴力などのあらゆる暴力から、自分のこころとからだを守るために、「安心」「自信」「自由」という「大切な3つの権利」を伝え、暴力にあわないために何ができるのか、もし暴力にあったときに何ができるのかを、一緒に考え、練習しています。



## 楽しい時間、安心な時間



CAPプログラムはもともと学校での実施を中心に広がってきました。くきCAPも以前は市町村の教育委員会から依頼を受けて、小中学校でワークショップを実施していました。しかし、ここ数年、くきCAPは学校での実施の機会がなくなり、コロナが始まる直前に学校での実施につながりそうだったところも、コロナ禍でまた次の機会を待っているところです。

そんな中、児童養護施設でのCAPプログラム実施は、長い施設では10年以上続いています。最初の頃から何度も職員ワークショップに参加して下さっている職員さんもいますし、小さいときから繰り返しCAPを受けている子どもたちもいます。今年すでに実施が終わった児童養護施設でも、「今年はまた私の順番！」とCAPを楽しみにして待っていてくれた子もいました。

CAPは子どもたちの年齢と発達に合わせたプログラムを実施するので、そのときの子どもの心やからだの状態、周りの環境によって、どんなメッセージが強く心に残るか、どのロールプレイをより身近に感じるか、どんなことを考えるかは違ってきたりもしますが、どの子にとってもCAPは「楽しくて、安心できる時間」であってほしいと思っています。「子どもへの暴力防止」と聞くと、おとなの方が身構えてしまったり、怖がらせるような言い方をして子どもの行動をコントロールしないといけないと思ったりする人もいるかもしれませんが、子どもたちは、安心できる人、空間、時間の中でこそ、よく学ぶことができます。「自分は権利を持った大切な人」「だから権利をとる行為、暴力にNOと言ってもいいんだ。できることが色々あるんだ！」ということを実感することができます。子どもたちがそんな時間をたくさん持てるように、これからは子どもの周りにおとなの皆さん、地域や社会へ真摯に働きかけることを続けていきたいと思っています。

くきCAP代表  
増田知巳





## 2021年度 CAPワークショップの実施

講座依頼を受けてのおとなワークショップ・子どもワークショップ、および、一般公開講座として地域のおとなワークショップ・CAP説明ミニ講座を実施しました。コロナの感染者が増え、教員向けワークショップが中止になってしまったのはとても残念でしたが、そのような中で企画・開催・参加して下さった皆様ありがとうございました。

おとなワークショップ	5回	計93人
子どもワークショップ	10回	計83人
CAP説明ミニ講座	1回	計15人

2020年度以降に実施した全ての講座は、NPO法人CAPセンター・JAPANのガイドラインを元に、徹底した感染予防対策を行って開催しています。地域の民生委員さんを対象にしたCAP説明ミニ講座は、コロナの感染状況が悪化したため、感染予防の対応策としてオンラインで開催しました。

### 講座のご依頼について

こちらのフォームからお問い合わせください。感染予防のためのオンライン開催も対応可能です。まずはお気軽にご相談ください。



お問い合わせ  
フォーム



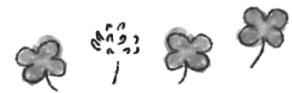
羽生市主催の講座ではプロジェクターを使用して、パネル掲示をよりスムーズにしました。



講師と参加者さんとの距離もしっかり取り、マスク着用の上、マイクを使用して話します。



参加者さんにロールプレイへの参加をお願いするときも、しっかりマスクを着用しています。



## CAP 説明ミニ講座 スタッフレポート



北本市内の地域の民生委員支部会長さんより講座の依頼がありました。コロナ感染が拡大する時期と重なり、対面でなく今回はオンラインでミニ講座とし、主にCAPを知っていただく事を目的とした内容で開催となりました。オンライン開催するにあたり、市役所の福祉課の多大なご協力をいただきました。講座の進行では、民生委員さんは公民館会場で視聴し、CAPスタッフ側がzoomを使う形になりました。地域の方にCAPを知る機会になればと思います。

# くきCAP情報のご案内



## WEB 担当

情報が欲しい方に伝わりますように。私たち CAP の活動、子どもの現状や支援団体の活動を知っていただくことで、明るく生きていける子どもたちが増えますようにと願いを込めながら更新しています。

## ホームページ

<https://kukicap.jimdo.com>



ホームページ

リーフレットや通信の紙面では載せきれない内容や情報をいろいろ掲載しています。画像や写真もたくさん掲載していますので、ぜひご覧ください。



## Facebook

<https://www.facebook.com/kukicap/>



Facebook

くきCAPの活動報告や関連支援情報などを随時更新しています。講座情報なども発信していますので、ご興味のある方はぜひフォローをお願いいたします。



## 通信担当



リーフレットやくきCAP通信を Word で作成しています。

くきCAPをご存じない方にも手に取っていただけるよう、また、どなたでも読みやすく、分かりやすいよう、ユニバーサルデザインも意識して作成しています。

もしも見かけたら、ぜひお手に取ってご覧ください。



## くきCAPリーフレット

(A4サイズ/3つ折り/フルカラー)

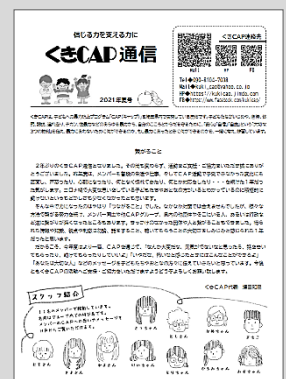
内容：CAPについて、CAPの取り組み、CAPプログラムの基本的な内容など  
※ホームページでもPDF版をご覧ください。

## くきCAP通信

(A3サイズ/2つ折り/白黒)

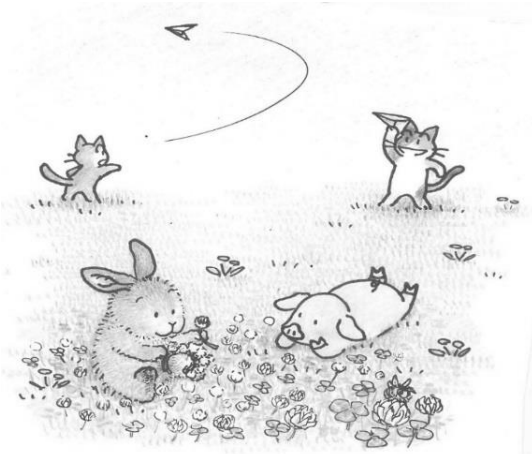
年1回程度発行

内容：活動報告、アンケート回答、情報発信など  
※ホームページでPDF版をご覧ください。





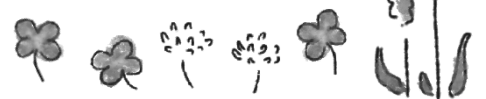
# 参加したおとなたちの声



- ◆ CAPというものを初めて知り、暴力について深く知ることができました。暴力をずっとされている子どもにとって、それが当たり前で安心だと勘違いしてしまうことを学び、私たちがそれをその子どもに安心を提供していくことが大事だと思いました。
- ◆ 暴力を起こさないために止める、エスカレートする前に止めるなど止めることは段階があることに気づくことができました。また、子どもひとりひとりの人権意識を育てることが大切だと知ることができました。
- ◆ CAPのワークショップは何度も参加させて頂いておりましたが、月日が経つと頭から離れていってしまっていたように思います。定期的に学習することは、本当に必要であると痛感しました。”ありがとう“の言葉、自分では言っているつもりですが、意識して言っていきたいと思います。
- ◆ 子どものバックグラウンドを意識して、今日の前で起きている行動にはどういった意味があるのか考えながら関わることは常に意識しておきたい。また、事実確認するとき、尋問にならないよう、聞き方以外に、態度や姿勢にも気を配る。
- ◆ 毎日の支援の中で、子どもの権利について考えながら仕事をしていなかったことに改めて気づきました。当たり前のことや言ってもよいことを子どもたちに教えることの大切さに気付くことができました。
- ◆ 権利について子どもたちにどのように伝え、教え方についてうまく説明のやり方がわからなかったのを改めて学ぶことが出来ました。
- ◆ 「子どもと話す時のガイドライン」、子どもの話をきくときに避けること、性暴力の相談方法などは明日から実践できると思いました。



ご参加  
ありがとう  
ございました



くきCAP応援サポーター（年会費 3000 円） &  
「フリージア事業」への寄付を募集中です！

（ゆうちょ銀行）

記号：10380 番号：20317561

（ゆうちょ銀行以外） 銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇三八 口座：普通2031756

\*名義はどちらも「クキキャップ」です。

「フリージア事業」は、白血病で亡くなった元代表・遠藤好子さんが好きだった花の名前をつけた基金です。寄付していただいたお金は、子どもワークショップの実施補助に活用させていただきます。ぜひご支援ご協力お願い致します。

